

2025年度

ニチイキッズなんこく保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月13日（火）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月21日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	ニチイの保育理念・保育目標・給食方針を軸に保育内容を考え、子どもたちの姿に応じた対応をしてきた。子どもたちが「おもいっきり」過ごせる環境作りを追求していきたい。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりの特性を捉え、適切な関わり・援助を職員全員で考えてきた。個々の育ちと集団生活で培えることをバランスよく保育に組み込み、意欲的に生活ができることを目指していきたい。
保護者に対する支援	子どもの育ちを一緒に喜び合える関係を築くことを第一に考え、日頃のコミュニケーションを大切にしてきた。それぞれの価値観や捉え方、育児に対する考え方など柔軟に対応していくことを今後も継続していきたい。
保育を支える組織的基盤	保育について職員間で意見交換を積極的に行ってきた。保育観の違いから意見が分かれることもあったが、お互いの良さを認め合いながら「子どもの最善」を考えていける集団になっていきたい。

総評
<p>「子どもにとって」より良い保育を考え実践した中で子どものことを考え、子どもが困らないように援助したり身につくように促したりすることが真により良い保育なのかに気づくことができた。</p> <p>子どもの最善を念頭に置き、保育内容や保育者の言葉掛け子どもに関わる全てにおいて、子どもはどう感じているのか、どうしたいのかを第一に考えられる保育を展開していきたいと思う。そして子どもが好きと言ってくれる保育園、保護者が安心して預けられる保育園作りを意識して努力していきたいと思う。</p>